



2014年5月12日

各位

会社名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 金城 照夫
(TEL. 06-6201-2461)

2014年3月期連結業績予想値と実績値との差異および
特別損失の計上に関するお知らせ

2013年11月1日に公表しました2014年3月期連結会計年度(2013年4月1日～2014年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたこと、また、個別決算におきまして、特別損失の計上をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業績予想値と決算における実績値との差異について

2014年3月期連結会計年度業績予想と実績の差異(2013年4月1日～2014年3月31日)

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	73,500	1,200	1,600	100	3.85円
今回発表実績(B)	75,174	875	2,607	280	10.80円
増減額(B-A)	1,674	△325	1,007	180	—
増減率(%)	2.3	△27.0	63.0	180.2	—
(ご参考)前連結会計年度実績(2013年3月期)	64,203	576	1,421	216	8.33円

II. 差異が生じた理由

当連結会計年度の業績は、海外事業につきましては、欧州景気低迷の影響を受け、欧州を主力市場とするローター社の業績は厳しい状況で推移しましたが、円安の影響により海外売上高は増加しました。その結果、売上高につきましては、前回の予想を上回りました。

一方、国内事業につきましては、円安により、海外から調達している主原料価格の上昇が続き、製品価格への転嫁に努めたものの、厳しい状況が続きました。その結果、営業利益につきましては、前回の予想を下回りました。

また、経常利益、当期純利益につきましては、円安による為替差益を営業外収益に計上したため、前回の予想を上回りました。

Ⅲ. 特別損失の計上について

1. 特別損失の内容

(1) 連結

当社の連結子会社 5 社におきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて、固定資産の減損損失 421 百万円を計上いたしました。

(2) 個別

当社が保有する連結子会社 Lawter B.V. の株式の実質価額が著しく下落したため、減損処理による関係会社株式評価損 2,103 百万円、また、同社に対する貸付金につきましても、将来の回収可能性を検討しました結果、当該貸付金の回収見込みが不確定であるため、その一部につき貸倒引当金繰入額 674 百万円を計上いたしました。

2. 業績に与える影響

上記の(1)につきましては、本日開示しております連結業績に計上しております。また、(2)につきましては、個別業績に計上しておりますが、連結決算上、消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上